



株主の皆さまへ

第7期 中間報告書

2019年4月1日～2019年9月30日

CONTENTS

トップインタビュー 1

特集 挑戦するDNA 3

トピックス 7

個人投資家・株主さまとの
コミュニケーション 9

株主優待制度について 9



代表取締役社長
大隈 郁仁

変わりゆく時代への挑戦

変化を先取りし、果敢に挑む。
グループ共創で、価値を創造し続ける企業グループへ

第7期中間期を振り返って

はじめに、相次いだ台風により被害に遭われた皆さまに、謹んでお見舞いを申し上げます。当社グループの事業地においても、一部に停電や設備破損等の被害が発生しましたが、通期業績への影響は軽微であったことをあわせてご報告いたします。

さて、当中間期の不動産業は、オフィスビル市場では、低水準の空室率を背景に賃料水準が緩やかな上昇を続け、また不動産投資市場は、良好な資金調達環境のもとで厳しい物件取得競争が続きました。分譲住宅市場においても、立地や利便性に優れた物件の需要は底堅く、総じて堅調に推移いたしました。

当社グループでは、売上高は4,125億4百万円（前年同期比2.5%増）、営業利益は316億82百万円（前年同期比1.5%減）、経常利益は260億57百万円（前年同期比6.1%減）、親会社株主に帰属す

る四半期純利益は143億95百万円（前年同期比13.6%減）を計上いたしました。

都市事業における投資家向けのビル等売却などを下期に予定していることもあり、通期業績予想の達成に向け、概ね順調に進捗していると判断しております。

第7期(2019年度)業績予想

売上高	9,300億円
営業利益	820億円
経常利益	710億円
親会社株主に帰属する当期純利益	390億円

再開発事業の状況について

住む・働く・過ごす機能の多くが融合する地域特性を活かし、ライフスタイル提案型の街づくりを関係者と協力して推進している広域渋谷圏で

は、渋谷ソラスタに続き、2019年11月に渋谷フクラス（道玄坂一丁目駅前地区第一種市街地再開発事業）が開業を迎えました。さらに、2019年12月5日には、渋谷フクラスの商業エリアに、生まれ変わった「東急プラザ渋谷」がオープンいたしました。新生「東急プラザ渋谷」からは、「大人をたのしめる渋谷へ」をコンセプトに、都会派の感度が成熟した大人に向けて、時間を重ねて「成熟」する楽しみをご提案してまいります。これまでの東急プラザをご愛顧いただいた方々はもちろん、渋谷から足が遠のいてしまった方々にも再び足を運んでいただく契機をつくり、渋谷の街のさらなる多様化、エリア全体の発展に寄与していくことをめざしてまいります。株主の皆さまにも、お立ち寄りいただけましたら幸いです。

➡ 東急プラザ渋谷については
7ページをご参照ください。

次に、スマートシティの実現や、国際ビジネス拠点化に向けた街づくりを推進している「(仮称)竹芝地区開発計画」では、このたび街区の名称を「東京ポートシティ竹芝 (TOKYO PORTCITY TAKESHIBA)」に決定いたしました。2020年度の開業に向けて、引き続き計画を進めてまいります。

株主の皆さまへ

今回の報告書の特集記事では、創業の精神「挑戦するDNA」のもとで、様々な社会課題に事業を通じて向き合ってきた私たちが、これからめ

ざしていくライフスタイル創造の姿や、当社グループの今後の中長期的な価値創造、企業価値向上への取り組みについて、ご説明をさせていただきました。株主の皆さまのご理解の一助になればと思っておりますので、ぜひご一読ください。

➡ **特集「挑戦するDNA」は
3～6ページをご参照ください。**

また、株主還元につきましては、安定的な配当の維持継続とともに配当性向25%以上を目標とする方針に基づき、今回の中間配当は1株につき前年同期比50銭増配の8円とさせていただきます。

株主の皆さまにおかれましては、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「2019統合報告書」を発行

当社では、グループのあゆみや事業活動における価値創造の全体像を紹介する、「統合報告書」を発行しています。2019年版を当社ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

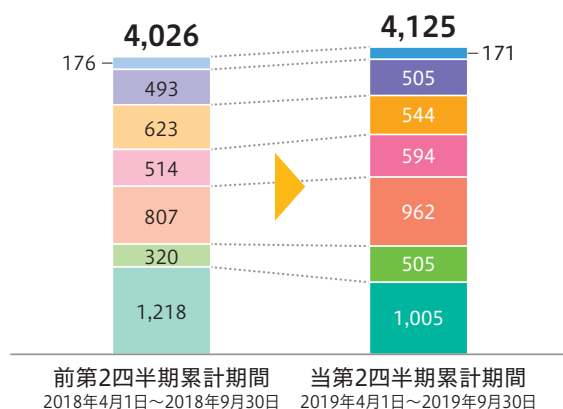
下記よりダウンロード
にてご利用ください。



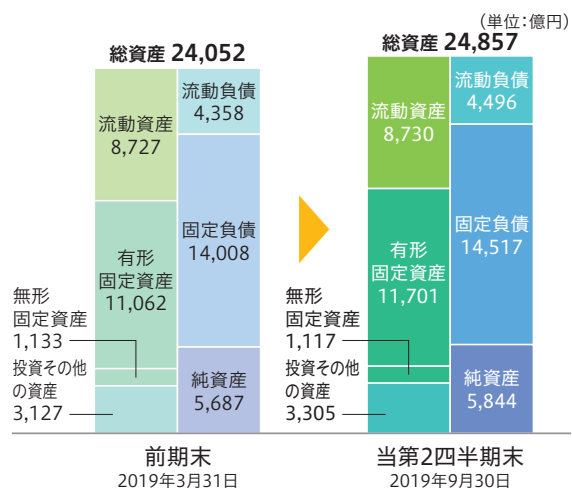
<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/ir/library/annualreport/>

売上高の推移 (全社・消去除く)

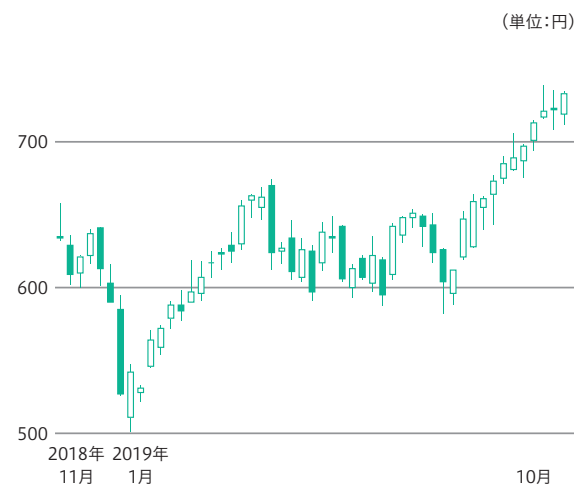
■都市事業 ■住宅事業 ■管理事業 ■仲介事業 (単位:億円)
■ウェルネス事業 ■ハンズ事業 ■次世代・関連事業



連結貸借対照表の概要



株価の推移 (2018年11月1日～2019年10月31日)



POINT 1 ▶ **売上高** 住宅事業における分譲マンションの計上戸数の増加等により対前年同期比99億円増収

POINT 2 ▶ **総資産** 仕掛販売用不動産の増加や、開発中のプロジェクトの進捗により固定資産が増加したこと等から、対前期末804億円増加

挑戦するDNA

私たちは、事業活動を通じて社会課題の解決に取り組む「挑戦するDNA」の系譜を今に受け継ぎ、新しい住まい方、働き方、過ごし方を提案するライフスタイル創造に取り組んでいます。
創業の精神である「挑戦するDNA」の継承と進化について、代表取締役社長の大隈が語ります。

渋沢 栄一

1918年 当社グループの起源となる田園都市株式会社を設立

“ 此の田園都市といふのは、簡単に申せば自然を多分に取り入れた都會の事であつて、農村と都會とを折衷したやうな田園趣味の豊かな街をいふのである。私は東京が非常な勢ひを以て膨脹して行くのを見るにつけても、我が國にも田園都市のやうなものを造つて、都會生活の缺陷を幾分でも補ふ様にしたいものだと思つて居つた。 ”

渋沢栄一 述『青淵回顧録 下巻』（青淵回顧録刊行会、1927年）より



五島 慶太

1953年 初代会長として東急不動産株式会社を設立

“ 東急不動産株式会社を東京急行から分けて設立しました趣旨は、東京急行に於ては田園都市業其の他の不動産関係事業は、本業の電鉄事業にかくれて兎角自由な発展を阻害され勝ちであつたので、これを独立会社として電鉄の附帯事業の枠から離れて自由に発展せしめ、従来の事業の外に新分野にも進出し三井不動産株式会社、三菱地所株式会社等の一流の不動産会社と伍して大いに事業を拡張し、国家的事業にも進出せしめたいと考えたからであります。又別に御手許に差上げた絵葉書にあります通り、渋谷駅附近に更に四、五個所高層ビルディングを建築致しまして、渋谷を中心とする地区の発展整備に資したいと存じております。 ”

1954年1月27日「渋谷地区開発計画に関する五島会長の演説
－渋谷区関係者に対する当社創立披露の席上に於て－」より



創業の想いを受け継いで

当社グループの原点は、1918年に渋沢栄一らによって設立された田園都市株式会社にあります。東京の都市化・人口流入が進み、住宅難の兆しが見え始めるなか、英国発祥の「田園都市構想」に基づいて、自然と都市の長所を併せ持つ田園調布を開発しました。以来、私たちは100年以上にわたって、渋沢栄一らが掲げた高い志を「挑戦するDNA」として継承し、さまざまな社会課題と向き合ってきました。

事業活動を通じて社会課題の解決に取り組むその姿勢は、渋沢栄一が提唱した「合本主義」そのものといえます。公益の追求を使命に、最適な人材と資本を集めて事業を推進する合本主義の考え方は、事業や利益を独占して財閥を形成する経営とは一線を画すものでした。経済的価値と社会的価値の両立を考え、サステナビリティを追求する昨今の経営スタイルを、私たちは過去から引き継いできたのです。

「挑戦するDNA」のバトンを受け継ぐ私たちが、今もっとも注力しているのが、渋谷再開発を中心とした「広域渋谷圏構想」です。長年、渋谷をホームグラウンドとしてきた私たちにとって、世界的にも知られた“SHIBUYA”の国際競争力を高めることは、国家的事業にも匹敵するような重要な取り組みです。「挑戦するDNA」とグループの総合力を結集して、長期的視点でエリア全体の価値向上に貢献していきたいと考えています。

そもそも渋谷再開発は、東急不動産株式会社の初代会長である五島慶太が思い描いた構想でもありました。1953年に東急不動産を設立した五島は、その翌年の演説で、渋谷駅周辺にさらに複数の高層ビルを建築する都市構想を述べています。まさに、現在の渋谷再開発を予見していたような発言です。この演説で五島は、渋谷区の総合開発計画に触れ、交通の大動脈は東京都と渋谷区が担い、毛細管または末梢神経にあたる開発は企業が実施したいこと、地上の混雑を解消するために渋谷地下街とバスターミナルを建設したいこと、金融機関の支店を集約した金融センタービルが必要であることなど、都市計画の具体的な構想を熱く語っています。演説を読み返すたび、この見事なまでの慧眼を、私たちも受け継いでいかなければならないと身が引き締まる思いがします。

価値創造は、お客さまとの対話から生まれる

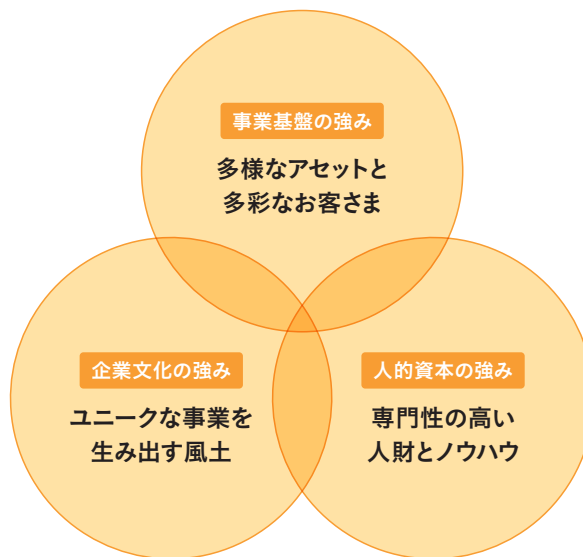
当社グループが展開する事業やサービスは多岐にわたります。それは、私たちが公益を追求しながら進化を続けてきた歴史の結果であり、時代に即して、さまざまな社会のニーズに応えてきた証です。

グループの成り立ちの違いに加えて、お客さまと直接触れ合う事業が多い点も、当社グループが他の総合不動産企業と異なる特徴です。商業

施設やホテルなどの運營業から東急ハンズのような小売業まで、幅広くお客さま接点を有しているからこそ、現場で社会やニーズの変化を敏感に察知し、新たな価値創造へとつなげることができます。「価値創造は、お客さまとの対話から生まれる」というのが私の持論です。

こうして私たちが培ってきたグループの強みは、「多様なアセットと多彩なお客さま」「ユニークな事業を生み出す風土」「専門性の高い人財とノウハウ」という3つに大別できます(図1参照)。不動産業を起点にした私たちの事業領域は、時代の変遷のなかで徐々に広がってきました。特にライフスタイルや価値観が多様化し、都市で生

図1 「挑戦するDNA」を受け継いで育まれたグループの3つの強み



活する人々のニーズも細分化する現代においては、社会やお客さまが不動産業に求める役割も大きく変わってきています。そのような環境変化のなか、私たちは今、「挑戦するDNA」を受け継いで育まれたこれらの強みを活かして、街に、社会に、新しい価値を生み出しています。

その価値創造のキーワードとなるのが、「ライフスタイル創造」という考え方です。私たちは、ハコやモノの枠を超えてライフスタイルを創造・提案する企業グループとして、新しい住まい方、新しい働き方、新しい過ごし方の提案を通じて、さまざまな社会課題の解決に取り組んでいます。

ライフスタイル創造の進化

総合不動産業を展開する私たちは、もともと不動産開発、すなわちハコ起点でビジネスをスタートしました。最初に取り組んだのは住宅です。マンションや戸建住宅の開発・分譲を通じて、お客さまに住まいという価値を提供しました。ハコ起点でのビジネスは、その後、商業施設やホテル、ゴルフ場、スキー場などのリゾート施設、賃貸で収益を上げるオフィスビルへと広がりました(ライフスタイル創造1.0)。

それから私たちは、不動産というハコを中心に、管理、仲介、運営へと不動産業の枠を広げ、売って終わりではない付加価値を創出しました。やがて、日本経済が豊かになる過程とともに、ハードだけではなくソフトサービスへのニーズが

高まり、住宅というハコを活かして、時代のニーズに即した新しい住まい方を提案するようになりました。同様に、商業施設やリゾート施設は新しい過ごし方の提案へ、オフィスビルは新しい働き方の提案へと発展しました。このように、それぞれのハコを活かしたソリューションを生み出すことで、私たちは事業の幅を広げ、収益モデルを進化させてきました(ライフスタイル創造2.0)。

そして今、私たちが生み出すライフスタイル創造は、新たな局面を迎えています。それは、ライフスタイルや価値観の多様化、テクノロジーの進展などを受けて、「住まい方」「働き方」「過ごし方」という3つの領域の垣根が低くなってきているということです。例えば、ワーカーの考え方は、かつての「ワークライフバランス」から「ワークアズライ

フ」へと変化し、仕事と休暇を合体させた「ワーケーション」も普及し始めています。そのほか、働き方改革、保育や介護の問題、健康寿命の延伸など、現代社会が抱える課題は、いずれも3つの領域に重なる課題であり、あらゆる生活シーンを融合させたライフスタイル創造が求められていると感じています(ライフスタイル創造3.0)。

すべてのステークホルダーの共感と呼ぶ経営を

ライフスタイル創造の進化は、事業活動を通じて社会課題の解決に取り組んできた「挑戦するDNA」が生み出したものです。渋沢栄一が掲げた合本主義に立ち返れば、私たちにはライフスタ

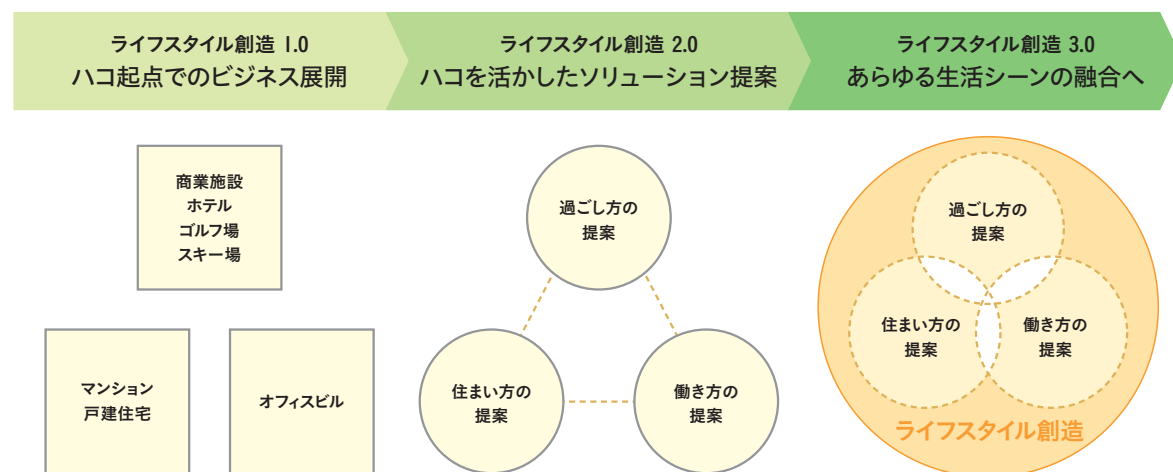
イル創造を通じて、サステナブルな成長を追求し続ける使命があります。

ESG(環境・社会・ガバナンス)マネジメントの推進、さまざまな国際的イニシアティブへの賛同、国連が掲げる「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成への貢献はもちろんのこと、私が長期的な視点からグループの経営で大事にしているのは、「あらゆるステークホルダーの満足度を高める」ということです。これまでの経験でたどり着いた、私の経営哲学ともいえる考え方です。

株主・投資家満足のために経済価値を追求しながら、地域・社会満足のために公益を追求する。この両者のバランスをとりながら、私利と公益を一致させていくことが、当社グループの原点ともいえる合本主義の考え方です。お客さまに対しては、私たちの強みであるライフスタイル創造による精神価値を、取引先・パートナーに対しては、ともに価値を生み育てる共創価値を、そして従業員に対しては、働く喜びや働きがいを追求することで、それぞれの満足度を高めていきます。これら5つの満足度を高め、その輪を広げていくことが、すなわち企業価値の向上につながると私は信じています(図3参照)。

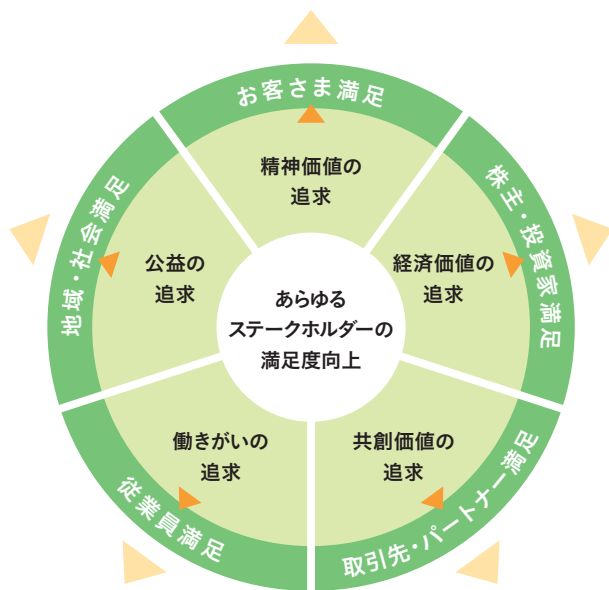
企業は社会の公器である以上、公共性や公益性の観点を常に意識しながら、特定のステークホルダーに偏ることなく、あまねく人々の「満足」を追い求めたいと考えています。言い換えれば、「共感と呼ぶ経営」ということかもしれません。共感なくして社会は変えられません。

図2 ライフスタイル創造の進化



テクノロジーの進化やイノベーションの加速は、これまで当たり前だと思ってきた「移動」や「場所」の概念を、根本から覆すかもしれません。やがてロボットが人間の代わりに働き、私たちは一切働かなくてよい時代が訪れるかもしれません。そうした未来を思い描いたとき、それでも私たちが求めるのは、感動する、喜びを分かち合うといった、私たちが本来持っている「人間らしさ＝ヒューマニティ」、あるいは「創造性＝クリエイティビティ」といったものではないかと私は思い

図3 企業価値を高める5つの満足度



それぞれの満足度を高め、
その輪を広げていくことが企業価値向上につながる

ます。これからは「心の時代」であり、一人ひとりが自己実現をめざす社会が訪れようとしています。さまざまな時間の過ごし方が生み出す心の満足を、どうやって経済価値に変えていくか。その部分に真剣に向き合っていくことが、これからの経営には必要だと感じます。変化の激しい不確実な時代だからこそ、私たちは創業の精神である「挑戦するDNA」を発揮して、社会やお客さまから必要とされる「価値を創造し続ける企業グループ」をめざしていきたいと考えています。



東急不動産ホールディングス株式会社
代表取締役社長 大隈 郁仁

挑戦の実例

新しい働き方の提案をめざす

キーワードは「コミュニケーション」×「生産性向上」

当社は、2019年8月14日より「渋谷ソラスタ」で営業を開始した新本社にて、**働き方改革に向けた本格的な取り組みを始めています。**働き方改革が進む昨今、ワーカーは働く場所や時間を自由に選ぶことができるようになる一方、企業内ではコミュニケーションの希薄化が問題視されています。当社はいつでもどこでも働ける時代だからこそ、わざわざ行きたくなくなるような場所をつくりたいと考え、「本社が呼んでいる」という想いを込めて新本社を「Call(コール)」と名付けました。また、Callでは当社グループの働き方改革を推進するだけでなく、ライブオフィスとしてお客さまへの新しい働き方の提案をめざします。「コミュニケーション活性化」と「生産性向上」を目的として、グループ従業員の交流スペース「COLABO!」を設置したほか、さまざまな先端技術を採用した取り組みも行っています。加えて、見えづらい働き方改革の効果を定量的に測ることで**働き方改革の見える化を実現し、お客さまへの提案につなげます。**当社は、Callからありたい姿として掲げる「価値を創造しつづける企業グループへ～ハコやモノの枠を超えてライフスタイルを創造・提案する～」の実現をめざします。

グループ従業員の交流スペース「COLABO!」

グループ従業員がコワーキングスペースや打合せスペースとして利用。最大200名程度まで参加できるイベントも開催。



TOPICS

価値創造を
推進中!

TOPICS 1 「東急プラザ渋谷」 2019年12月5日グランドオープン

東急プラザ渋谷は、「渋谷フクラス」の商業施設ゾーンに「大人をたのしめる渋谷へ」をコンセプトにグランドオープンいたしました。

ターゲットは「都会派の感性が成熟した大人たち」。時間を重ねることの価値や豊かさを知り、本物や本質的なものの良さを大切にしながら、遊び心も忘れない。人生100年時代の今、都市で生活するそういった大人たちへ、時間を重ねて「成熟」する楽しみを提案してまいります。



東急プラザ渋谷 外観入り口イメージ

屋上階、17階には、渋谷の街を一望できるルーフトップガーデン『SHIBU NIWA』を設置します。また総合エンターテインメントレストラン「CÉ LA VI」も日本初上陸し、ハイセンスで成熟した大人に向けて、ここでしかない渋谷の景色を楽しみながら、トータルエンターテインメントを提供する大人の社交場を創出します。



2F エントランスイメージ



シブヤライフラウンジイメージ

6階、7階の飲食フロアは『シブヤグラン食堂』として、様々なシーンや気分ではちのめできるバラエティ豊かな“渋谷の大人のお墨付き食堂”が揃います。



シブヤグラン食堂 イメージ



ルーフトップガーデンイメージ

5階には『シブヤライフラウンジ』をテーマに、大人世代のニーズにマッチした“ライフプランのお悩み解決”を実現するプロフェッショナルが揃うこれまでにない新しいスタイルのサービスフロアを展開します。

東急プラザ渋谷 施設概要

事業主体 東急不動産株式会社
所在地 東京都渋谷区
道玄坂一丁目2番3号
地上2階～8階、17階、18階
店舗数 69店舗

地域に根ざした取り組み

東急不動産は「渋谷フクラス」をはじめ渋谷駅周辺エリアにて様々な再開発事業に携わっており、様々な地域活動に取り組んでいます。渋谷駅周辺の各事業者が参画する「渋谷駅前エリアマネジメント協議会」では官民が連携したエリアマネジメント活動を通じ、まちの賑わいを創出しています。

また、ゴミ拾いボランティアから「渋谷金王八幡宮例大祭」参加等、地域に密着した渋谷の街の魅力づくりを行っています。



2019年11月までに「渋谷ソラスタ」、「渋谷フクラス」、「渋谷スクランブルスクエア第I期(東棟)※」が開業しました。
変わり行く渋谷の街にご期待ください。

※「渋谷スクランブルスクエア」は東急(株)、東日本旅客鉄道(株)、東京地下鉄(株)の共同プロジェクトです。



「ブランズタワー豊洲」完成予想図

TOPICS 2

「ブランズタワー豊洲」販売開始

～注目の湾岸地区をますますにぎわいと活気あるエリアへ～

豊洲エリアの中でも高い至便性と親水性・解放感を持ち合わせた敷地内に地上48階地下1階建て、総戸数1,152戸の超高層分譲マンションを中心に、生活利便施設(スーパーマーケット)と保育所を設け、地域の皆さまの生活環境の向上を図ります。また、敷地の一部を江東区立豊洲西小学校の増築棟用地として江東区に譲渡し、豊洲地区の児童急増によるインフラ不足という地域が抱える課題解決にも対応しました。

今後はエリアマネジメント活動にも取り組み、地域の継続的ににぎわいや豊洲地区の更なる活性化・価値向上に貢献してまいります。

ブランズタワー豊洲 物件概要

所在地 東京都江東区豊洲五丁目100番3(地番)
交通 東京メトロ有楽町線「豊洲」駅から徒歩4分
 ゆりかもめ「豊洲」駅から徒歩4分
間取り 1LDK～3LDK
住戸専有面積 43.41㎡～228.42㎡
総戸数 1,152戸

TOPICS 3

東急ハンズ 「渋谷スクランブルスクエア店」 11月オープン

～渋谷エリアに2つの東急ハンズでより楽しく、便利に～

東急ハンズ渋谷スクランブルスクエア店は、国内外57店舗目となる店舗です。渋谷には1978年に開業し今年で41年目を迎えた渋谷店が永年にわたって多くのお客さまに愛され続けておりますが、このたびオープンする渋谷スクランブルスクエア店は、“東急ハンズ渋谷店への入口”として、駅直結・直上というアクセスの良さを活かし、「楽しさ」「驚き」「ワクワク感」が詰まったお店をめざしてまいります。



東急ハンズ「渋谷スクランブルスクエア店」

東急ハンズ渋谷スクランブルスクエア店 店舗概要

場所 東京都渋谷区渋谷二丁目24番12号
 渋谷スクランブルスクエア
 ショップ&レストラン10階
交通 渋谷駅直結(JR線・東急東横線・田園都市線、
 東京メトロ銀座線・半蔵門線・副都心線)

個人投資家さま向けIR説明会を開催

個人投資家の皆さまに当社グループの事業概要や中長期の経営計画等への理解を深めていただくことを目的として、個人投資家さま向けIR説明会を開催しています。

2019年9月8日に大和証券(株)本店で開催した説明会では、社長の大隈が登壇し、330名を超える個人投資家の皆さまにご説明をいたしました。説明会は当社グループへのご理解を深めていただくとともに、個人投資家の皆さまからのご質問を通じて貴重なご意見を伺う機会となりました。説明会資料、説明動画は下記ホームページに掲載しております。

今後も個人投資家の皆さまに当社グループについてわかりやすく説明することで、当社グループへのご理解を深めていただくとともに、より良い信頼関係の構築に努めてまいります。



IR説明会の様子

「個人投資家向け会社説明会資料、説明動画」は以下に掲載しております。

<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/ir/library/individual/>



株主さま向け東急プラザ渋谷開業前内覧会を開催

当社グループの事業内容への理解を深めていただくことを目的として、2019年12月4日に東急プラザ渋谷開業前内覧会を開催いたしました。

内覧会は、多数のご来場が予想され、混乱を避けるために、5,000株以上ご所有の個人株主さまにご案内をいたしました。内覧会の様子は12月中旬以降下記ホームページに掲載予定です。

今後も株主さまに当社グループ事業へのご理解を深めていただく機会を設けてまいります。



東急プラザ渋谷
外観入り口イメージ

「株主さまとのコミュニケーション」

<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/ir/individual/communication/>



継続保有株主優遇制度

Q 相続により株式を保有しました。
継続保有期間の起算はどうなりますか？

A 株式所有者の名義変更に伴い、株主番号が変更になります。そのため、継続保有期間の起算は株主番号変更直後の3月末日からになります。

Q 継続保有株主優遇制度は
どのような制度ですか？

A 500株以上、3年以上継続保有の株主さまに対象期間の保有株式数に応じてオリジナルカタログギフトを年1回贈呈する制度です。

当社の株主名簿に、同一株主番号で、当該3月末日割当日を含む直近7回の割当日(3月末日、9月末日)に保有されていた最小株式数に応じてカタログギフトを贈呈します。6月末(株主総会終了後)に期末配当通知と一緒にお送りします。

保有株式数	500株以上1,000株未満
コース	カタログギフト(2,000円相当)

2019年度カタログギフト実施内容

カタログギフト(2,000円相当)



はちみつで作った
果肉いっぱいジャム
3本セット

京セラ
ダイヤモンド
ロールシャープナー

2019年度カタログギフトの商品申込は2019年10月末日に終了しました。

当社の株式は継続してお持ちいただくとこんなメリットがあります。末永くご愛顧ください。



株主様ご優待券について

Q 対象期間や最小株式数はどのように見るのですか？

下記事例をご確認ください。

単位:株

	2017年 3月末日	2017年 9月末日	2018年 3月末日	2018年 9月末日	2019年 3月末日	2019年 9月末日	2020年 3月末日	2020年 9月末日	2021年 3月末日
2020年度	割当日1	割当日2	割当日3	割当日4	割当日5	割当日6	割当日7		
2021年度			割当日1	割当日2	割当日3	割当日4	割当日5	割当日6	割当日7
株主Aさま	100	100	500	500	500	500	500	1,000	1,000
株主Bさま	1,000	1,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000

Aさま 2020年度 継続保有期間中の最小株式数が100株のため、贈呈対象外になります。
2021年度 継続保有期間中の最小株式数が500株のため、2,000円相当のカatalogを贈呈します。
Bさま 2020年度 継続保有期間中の最小株式数が1,000株のため、5,000円相当のカatalogを贈呈します。
2021年度 継続保有期間中の最小株式数が5,000株のため、10,000円相当のカatalogを贈呈します。

1,000株以上5,000株未満

カatalogギフト(5,000円相当)

5,000株以上

カatalogギフト(10,000円相当)

Q 株主様ご優待券はいつごろ、どのように送られてきますか？

A 当社の株主名簿に3月末日の割当日に記載された株主さまには6月末(株主総会終了後)に期末配当通知と一緒に、9月末日の割当日に記載された株主さまには12月上旬に中間配当通知と一緒に、お送りします。

種類	対象施設	1枚につき	100株以上 500株未満	500株以上 1,000株未満	1,000株以上 5,000株未満	5,000株以上
ご宿泊優待券	リゾートホテル	1泊1室	1枚	2枚	4枚	8枚
ご宿泊優待 共通券	東急ステイ	1泊1室	2枚	4枚	6枚	12枚
	リゾートイン	1泊1室				
	旧軽井沢KIKYOキュリオ・コレクションbyヒルトン	1泊1室				
	パラオパシフィックリゾート	6泊1室				
スポーツ ご優待 共通券	ゴルフ場	※1	2枚	4枚	6枚	12枚
	スキー場	大人2名				
	東急スポーツ オアシス	16才以上 2名				
お買物優待 カード	東急ハンズ※2	カード (制限無)		1枚 (5%割引)	1枚 (5%割引)	1枚 (10%割引)

※1平日は一組4名様まで、土日祝日は1名様

※2東急ハンズお買物優待カードのみ、3月末日を割当日として、年1回発行します。



ご利用いただける期間中は、お手元に保管いただき、ぜひご利用ください。

ご優待券とご案内を一冊にまとめています。ご優待券はミシン目に沿って切り離してご利用ください。▶



人気商品のご紹介

カatalogギフト(5,000円相当)

米沢牛ビーフシチュー
4袋入り



ビタクラフト
ボヘミアンフライパン 26cm



カatalogギフト(10,000円相当)

「宮城県」
ご飯に合う
贅沢三昧セット



hands+
ソフトキャリーケース30ℓ



ご寄付について

「セーブ・ザ・チルドレン」

「セーブ・ザ・チルドレン」への寄付を選択された株主さまからの寄付金総額は、187,000円(2019年10月末日現在)になりました。寄付金は「セーブ・ザ・チルドレン」に寄付し、緊急・人道支援、保健・栄養、教育、子どもの保護、防災などの分野で活動につなげていきます。

●「セーブ・ザ・チルドレン」ホームページURL
<https://www.savechildren.or.jp/>

「緑をつなぐプロジェクト(森林保全活動)」

「緑をつなぐプロジェクト」への寄付を選択された株主さまからの寄付金総額は、65,000円(2019年10月末日現在)になりました。寄付金は「緑をつなぐプロジェクト」を通じて地方公共団体に寄付し、森林保全活動につなげていきます。

●「緑をつなぐプロジェクト」ホームページURL
<http://tokyu-midori.com/>

ご寄付ありがとうございました

会社概要／株式の状況 (2019年9月30日現在)

会社概要

商 号	東急不動産ホールディングス株式会社 Tokyu Fudosan Holdings Corporation
設 立	2013年10月1日
資 本 金	77,562,030,000円
従 業 員 数	連結21,976名(2019年3月31日現在)
ホームページアドレス	https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/
所 在 地	〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-21-1

役員

代表取締役会長	金 指 潔
代表取締役社長 社長執行役員	大 隈 郁 仁
取締役執行役員	榊 真 二
取締役執行役員	植 村 仁
取締役執行役員	雑 賀 克 英
取締役執行役員	西 川 弘 典
取締役執行役員	岡 田 正 志
取締役執行役員	木 村 昌 平
取締役	野 本 弘 文
取締役	吉 崎 浩一 ^{※1}
取締役	貝 阿 彌 誠 ^{※1}
取締役	新 井 佐 恵 子 ^{※1}
取締役	小 笠 原 倫 明 ^{※1}
執行役員	太 田 陽 一
執行役員	三 木 克 志
執行役員	吉 浦 勝 博
執行役員	古 沢 繁 之
執行役員	木 村 成 一
執行役員	星 野 浩 明
執行役員	小 室 明 義
執行役員	速 川 智 行
執行役員	池 内 敬
執行役員	西 村 和 浩
執行役員	亀 島 成 幸
常勤監査役	持 田 一 夫
常勤監査役	橋 詰 雅 彦
監査役	浅 野 友 靖 ^{※2}
監査役	武 智 克 典 ^{※2}

※1印は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

※2印は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株式の状況

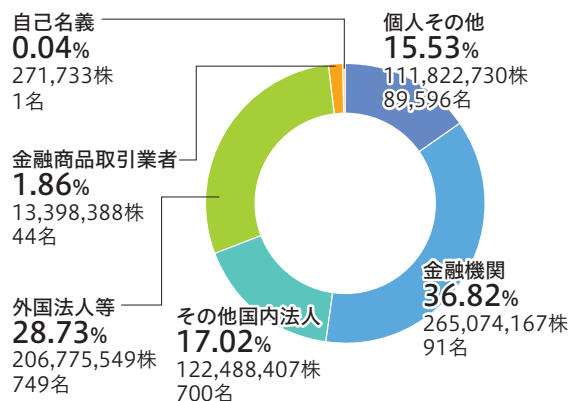
発行可能株式総数	2,400,000,000株
発行済株式総数	719,830,974株
株主総数	91,181名
単元株式数	100株

大株主の状況

株主名	株数(千株)	持株比率(%)
東急(株)	114,379	15.90
日本マスタートラスト信託銀行(株)信託口	57,882	8.04
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)信託口	55,622	7.73
三井住友信託銀行(株)	16,008	2.22
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	15,345	2.13
第一生命保険(株)	14,918	2.07
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)信託口4	10,893	1.51
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)信託口5	10,702	1.49
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505001	10,133	1.41
ジェーピー モルガン チェース バンク 385151	9,763	1.36

(注) 持株比率は、自己株式271,733株を控除して計算しております。

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
株主確定基準日	定時株主総会、期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
公 告 方 法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/ ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関 (郵便物送付先) (電話照会先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
(インターネット) (ホームページURL)	https://www.smbt.jp/personal/agency/index.html

お知らせ

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行(株)にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行(株)にお申出ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」((株)証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行(株)に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

3ページ画像提供協力:東急(株)



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
この冊子は、地球環境に配慮し、FSC®認証紙と植物油インキを使用しています。